

# 各地区業況アンケート結果（2019年5月調査分）

（2019年5月28日）

全国鉄鋼販売業連合会

5月27日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ76名の回答があり（回答率52.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 売上数量DI値マイナス続く

問1】貴社の4月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	10	12	24	21	9	76	76
比率	13%	16%	31%	28%	12%	DI-9	DI-17
売上金額/前年同月比	11	15	23	17	10	76	76
比率	15%	20%	30%	22%	13%	DI±0	DI+17

## 2. 収益は僅かだが悪化傾向

問2】貴社の4月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	18	24	21	10	2	75	75
比率	24%	32%	28%	13%	3%	DI+61	DI+68

## 3. 全向け先でやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て5月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		5	26	23	2	56	-39	-24
民間建設向		6	34	23	1	64	-30	-16
自動車向		1	30	6	2	39	-23	+3
その他需要家向		3	36	23	3	65	-40	-10
仲間取引		2	38	20	3	63	-38	-39
計		17	164	95	11	287	-35	-19
比率		6%	57%	33%	4%			

## 4. 盛上らず低調に推移

問4】貴社における向う6月から8月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	20	36	15	2	74	75
比率	1%	27%	49%	20%	3%	DI +4	DI +9

## 5. 薄板中心にほぼ全品種タイト感なし

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	品種別	A	B	C	D	E		5月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
0	0	-7	7	-3	3	0	0	19	11	0	0	6	鉄筋用丸鋼	1	1	27	3		32	0
10	10	13	13	0	6	15	7	0	0	-3	0	-6	構造用丸鋼		1	29	2		32	-3
-3	-3	-6	0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	平角鋼			33	3		36	-8
-6	-3	10	9	9	3	18	41	41	36	15	11	-8	H形鋼			26	8		34	-24
33	38	59	67	76	81	100	125	89	120	85	57	25	コラム		4	21	1		26	12
3	-6	0	-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	小形山形鋼			35	4		39	-10
-18	-12	-3	-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	中形山形鋼		1	31	7		39	-15
0	-9	-3	-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	溝形鋼			30	7		37	-19
-15	-14	-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	軽量形鋼C形			30	4		34	-12
-16	-15	-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	軽量形鋼広巾			19	2		21	-10
4	14	13	8	4	7	12	8	12	0	-3	0	-21	冷延薄板			17	8		25	-32
27	23	12	11	-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	熱延薄板			23	9		32	-28
40	33	27	14	3	6	3	0	8	0	-7	-10	-32	表面処理鋼板			17	10	1	28	-43
32	25	18	11	-3	-3	-10	20	34	16	3	0	-25	酸洗鋼板		1	17	13		31	-39
21	19	16	7	5	7	7	20	20	18	7	0	-13	中板		1	32	9		42	-19
-6	14	14	10	23	31	41	49	45	36	15	17	0	厚板		3	29	7		39	-10
0	13	0	0	11	25	13	33	19	6	19	5	0	極厚板			13	2		15	-13
3	-10	-3	3	3	-3	-7	0	6	-6	6	0	0	縞板		2	29	2		33	0
-11	-5	-12	0	-7	2	3	16	3	0	-5	-10	-8	中径角			33	7		40	-18
-8	-8	-6	10	2	-5	0	3	8	13	2	2	-8	ガス管黒		2	33	5		40	-8
-6	-8	-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	構造用鋼管			30	7		37	-19
4	4	5	5	2	5	5	14	14	10	2	1	-9	計	1	16	554	120	1	692	-15

## 6. ボルト不足の影響か、荷動きは全般的に低調

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	4月の一般形鋼の荷動きは、総じてまったり感の漂う商いで終始した。大型連休前後に多少荷動きがあったが、入荷も好調なことからなかなか在庫調整が進まない。
	B	北海道の丸棒も荷動きが出てきた。市況的にはスクラップ下落も高値安定で様子見状態が続いている。
	C	酪農関連の牛舎などの発注が順調である。公共事業では高速道路のほか、漁港整備が多く感じる。
東北	A	生材の動きが鈍い。地元物件が少ない。
	B	新規物件が少し先になるため、契約残を消化している。
	C	新規物件も積算物件もなし。受注残の消化をするのみ。国土強靱化計画に期待する。
	D	山形県の公共工事案件は一定量あるものの、新規民間案件はあまり見られず春の需要期に入ったにも関わらず盛上りは少ない。また、製造業向けの鋼板販売についても米中貿易摩擦などの要因による景気の不透明感から伸び悩んでいるのが現状である。
新潟	A	出荷量は伸びず、横這いか減少。薄板の市中在庫の増加が今後の心配になる。
	B	5月は長期の連休明けにて稼働日が少なく販売量は落ちると予想。建築関係は比較的動きは先行していると思われるが他業種はそれほど活発とは言えない。単価は未だ小幅な転嫁に留まる。細かい営業に留意している。
	C	新規案件の見積りは少ない。単価は踊り場状態で、価格転嫁も難しい状況。
	D	いまいちパツとしない。予定している物件が遅れ気味になっている。小口物件が減少している中、価格転嫁が厳しい現況である。
	E	4月は先行き見通せない中なんとかなったが、今後の不安は大きい。
	F	ここ最近はやや荷動き低調。新規物件もなし。首都圏の建設需要もボルト不足の影響で一服感がある。ボルト不足が足枷となり、建設需要に悪い影響を及ぼしている。鉄骨から木造に設計される案件も出てきている。
	G	ファブは受注残を抱えているが、足元はそれほど高くない。住宅関連は増税前の前倒し生産が一部にあり、産機は半導体主体に低調、空調はエアコンの生産に不透明感がある。
神奈川	A	工作機械向けの需要が落ち込んでいる。
	B	全般的に頭打ち傾向。建築案件などの延期もあり、先行き不透明である。米中貿易摩擦の影響が今後どう出てくるのか懸念しており、与信の見直しをする必要もある。
東京	A	(構造用丸鋼) 製鋼メーカーは逼迫状況から一服している。ロール引受けで余裕が少し出てきている。但し、全体的には各社とも悲観的になるような減産にはなっていない。自動車および建機関連では、部品、機種によって生産に濃淡が足元で見られる。店売りでは、価格は動かないものの荷動きとしては依然低調である。
	B	稼働日数が少ないため落込み感がある。
	C	4月度はGW大型連休前に仕上げておこうという向きと連休後使用する材料を前もって引っ張っておこうとする向きで多少販売量が伸びたようだが、在庫はじゃぶじゃぶの状態は変わりなく4月良かった反動は5月出てくると考える。
	D	4～6月の活況感はないが、価格、数量ともキープに必至である。
	E	米中貿易戦争の影響が気になる。半導体など、動きの悪い業界も目立つ。

東京	F	表面処理鋼板は一部の品種にやや過剰感があるものの品種によってはタイトなものもあり、全体的に落ち着いている。店売りの荷動きは鈍いが、建材を中心に直需ユーザーの荷動きは年度があけても好調を維持している。一部に値下げ（換金売りと思われる）の動きはあるが、メーカーの値上げは継続しており、収益改善にも道半ばであり、価格を下げるのは自殺行為と思われる。
	G	地場建築、土木の工期遅れを短縮できる先へ発注が顕著である。一方、薄板は安値の売込みが日常的になってきた。節度ある販売をお願いしたい。
静岡	A	ハイテンションボルト入手難による工期遅れ、新規案件の減少が継続している。足元、中小ファブでは手の空いているとこともあり、山積みの高さはあっても繁忙感を感じられない。
	B	重量S造案件の先々へのアプローチがメーカー、鉄鋼商社、大手流通工事部門ともに役割が決まっている感じがある。人材に恵まれ、当然、新陳代謝が整った先がプライオリティに勝る。地方レベルの建築案件増に期待したい。価格は是正の話が報道番組のコメンテーター同様、言う事はだれでも出来る。エンドユーザーへの価格が業界紙の掲載と同値または下回っても売れないそうである。決算期の流通は各社良い状況である。しかし、4～5月の販売は低調になっているようだ。中央の大手流通の地方出店先の販売は中央からの指示である。相見積りの価格差に閉口している。老舗建設業者を含め不良債権の発生が増えてきたのではと信用調査会社から問い合わせがきており信用調査会社も暇な様子である。
石川	A	GW10日間の休業を心配していたが、思い過ごしであった。しかし、休み明けはなんとなく調子が良くない様子である。やはり休みぼけなのか。日本人にはなじまない気がする。相場や需要関係に変化なし。
	B	大型連休明け後、1～2日は配送しきれないほどの出荷があったが、今は落ちついてしまった。ここへきてメーカーからの契約分の入りもよくなり、在庫量が増えつつある。地域内の競合で値を下げた話は今のところ聞かない。このまま踏ん張り続けられるように願うが重苦しい状況が長引くと大変である。
富山		関東向けの遅れ、地元向け減で連休明けも荷動きは悪い。建築に関わる業者の仕事は全般的に少ない様子である。
岐阜	A	プレートやコラムのリードタイムが若干早くなっているような気がする。仕事量が少なくGW前と明け、ともにバタつくことはなかった。
	B	大型連休もあり、需給に不安があったが、それほど混乱はなかった。建築のボルト不足問題は解消していない。産業機械や設備関連の仕事は、やや落込みながらも、まだ出ている。
愛知	A	令和になって世の中はお祝いムードで明るい、景気は暗い。輸出関連特に機械に影響が出ている。設備関係も良くない。自動車だけが頑張っている。市況も下を向いてはいるが下げられない状況か。
	B	集鋼関係は山が高いがコストアップの吸収が困難である。オリンピック効果の需要増は感じる事がなかった。客先によってはマイナス効果もある。4～6月はあまり期待できないが、7月からは物件が出てくるようだ。但し、倉出し販売は期待薄である。
	C	土木案件の見積りは減少しているが、これから出てくるだろう。建築案件はボルト不足の影響があり、5月は中小物件が少ないが6月以降は増えそうである。パレット向けの引合いが増えてきた。
	D	鋼板が余り気味の気がしている。酸洗鋼板で一部値下げしている業者もいると耳にする。GW明け荷動きがあまり良くない。ボルト不足なのか仕事量が減少しているか分からないが先行きは読めない。

三重		大型連休前の駆け込み需要もなく、高力ボルトの手配難が影響しているのか荷動きは低調のまま横這いで推移している。需給におけるタイト感はないが、メーカーの強気販売姿勢は功を奏しているのか、今のところ値崩れはない。しかし、これ以上の荷動きの停滞感は、同業者の安値を聞くにつけ非常に不安である。
大阪	A	新年度に入り、荷動きは大きく変わりが無い。5月に入っても4月並の荷動きである。しばらくして、この様な状態が続くものと思われる。
	B	10連休の影響か工事遅れ、着工遅れ、またハイテンボルトの不足からか中小鉄骨物件の動きが冴えず、パツとしない。連休明け商談（引合い、見積り）の活発化を予想したが、あまり動きも見られない。その割に見積りもしていないような飛込みの工事、注文が多くどうなっているのか動きがさっぱり読めない。
岡山		全般的に低調。ハイテンボルトが原因なのか分からないが仕事が少し暇な鉄工所もある。突発の仕事も昨年は拒んでいたが、今は何でもする企業がある。GW明けもそうバタバタしなかった。
香川		長期連休で実働が少ないうえ、引続きボルト不足の問題もあり、5月は非常に厳しくなると思われる。
北九州	A	鉄スクラップは続落したままだが、メーカーの価格重視は変わらず、足元の荷動きは落ち着いており、安値よりの展開にて身動きが取れない。
	B	建築関連は好調だが、小口の即応物件はボルト不足から辞退の動きがあり、倉出即納品の引合いは低調である。加工のみ多忙または予算見直しで耐震から免震に変更や工期延期される物件も散見される。手空きのファブも出てきている。相場も受注優先のため下値が広がってきた。流通在庫も過剰気味である。